

P 4 ヘリコバクター・ピロリ感染に対する天然酵母発酵飲料コーボンマーベルの飲用効果

○大西秀典¹、多田龍生²

- 1) ストレスクリニック・おおにし内科
- 2) 第一酵母株式会社

[目的]

天然酵母発酵飲料コーボンマーベルを長年飲用している人の消化性潰瘍罹患率が少ないことにヒントを得て、同飲料の日常的飲用がヘリコバクター・ピロリ感染に影響を及ぼすか否かを検証するために、同飲用者と非飲用者の感染率の比較を行った。

[方法]

京都市内のある健康食品店の顧客を対象とした。飲用者はコーボンマーベルを1年以上、日常的に飲用している顧客で、40歳代、50歳代、60歳代の各グループ9名ずつを対象とした。非飲用者は同飲料を飲んだことがない60歳代の9名を対象とした。対象者の早朝尿を検体として、尿中抗ヘリコバクター・ピロリ抗体の有無を測定した。

[結果]

各グループの抗体陽性率は飲用者40歳代、50歳代、60歳代全て55.6%であった。非飲用者のグループは77.8%であった。

[考察及び結論]

尿中抗ヘリコバクター・ピロリ抗体測定法は血清抗体測定法と同等の診断能を有する。日本人の同抗体陽性率は年齢と共に上昇し、40歳代で急上昇する。浅香によると40歳代約77%、50歳代約72%、60歳代83%である。非飲用者グループは60歳代で77.8%であり、浅香の成績に近似している。それに比し、飲用者グループは全ての年代において、浅香の成績及び非飲用者のグループに比し、抗体陽性率は有意に低値を示した。

ヘリコバクター・ピロリ感染者に除菌治療を行うと、2ヶ月後より抗体価は著明に低下し、除菌成功例では9ヶ月ないし1年以後も陰性となるが、不成功例では4ヶ月後には再上昇し、以後再び陽性となる。従って、飲用者グループはヘリコバクター・ピロリの感染を予防したか、あるいは除菌したものがいたと言える。その率は約30%と推測され、抗生剤単独の除菌率0~20%に比べると高いと言える。